

市民公開講座

脳科学の達人2021

脳と心の病に切り込む最前線!

2021年

7月24日 土

14:00-16:30

参加費無料

事前参加
登録不要

最先端の脳研究を、
驚きのわかりやすさ・
面白さであなたに!



2015年に始まって以来、好評を博してきた「脳科学の達人」シリーズ。今年は脳科学と精神医学で活躍中の6名の研究者が登場し、それぞれの研究のリアルな面白さを語ります! 昨年の特別企画の経験を活かし、今年もオンラインで開催。世界中どこからでもご視聴いただけますし、スマホ等からリアルタイムで質問(※)を受け付ける予定です! 同時期に開催中の「脳科学オリンピック」からも予選に参加する“脳科学的な”高校生を招待し一緒に企画を盛り上げます。みなさま、奮ってご参加いただき、ホンモノの脳科学をぜひ体感してみてください。



オンライン開催

対象 高校生・大学生および一般の方

大会ホームページよりご覧ください

視聴方法



ZoomまたはYouTubeで閲覧が可能です
https://neuroscience2021.jnss.org/open_lecture.html



※リアルタイム質問はこちらから
<https://liveq.page/ja/dDMxPYmdFstOsspl39On>



ファシリテータ
竹内 薫
(サイエンス作家)

Facilitator & Presenters



プレゼンター
青木 悠太
(昭和大学)



プレゼンター
石川 理子
(慶應義塾大学)



プレゼンター
小泉 愛
(SONY CSL)



プレゼンター
乗本 裕明
(北海道大学)



プレゼンター
宮川 剛
(藤田医科大学)



プレゼンター
渡部 喬光
(東京大学)

市民公開講座

脳科学の達人2021 脳と心の病に切り込む最前線!

ファシリテータ

Facilitator



竹内 薫 (サイエンス作家)

Profile

東京大学教養学部教養学科・東京大学理学部物理学科卒業。マギル大学大学院博士課程修了。理学博士(Ph.D.)大学院を修了後、サイエンス作家として活動。物理学の解説書や科学評論を中心に150冊あまりの著作物を発刊。「99.9%は仮説~思い込みで判断しないための考え方」は40万部を超えるベストセラーとなる。幅広い科学ジャンルで発信を続け、執筆だけでなく、テレビ、ラジオ、講演など精力的に活動している。

プレゼンター

Presenters



診断が違えば脳は違うか

青木 悠太

(昭和大医学部発達障害医療研究所)

Profile

東京大学医学部を卒業後、精神科医として働き脳の複雑さに興味を持つ。東京大学大学院で博士(医学)を取得したのち、米国ニューヨーク大学小児思春期精神科で発達障害当事者の脳画像研究に従事。帰国後は、複雑なのは脳ではなく精神科医の考え方であると考えて計算論的なアプローチをとったシンプルな脳画像研究を行っている。



見える世界は経験で変わる?
— 脳はどうやって見ることを学ぶのか —

石川 理子

(慶応義塾大学医学部生理学教室)

Profile

大阪大学大学院生命機能研究科博士課程修了。2009年生理学研究所、研究員・助教を経て、2019年より慶応義塾大学医学部生理学教室、特任助教。変化する神経回路に魅せられて、神経回路から規則性をみつけること、その規則性が作り出されるメカニズムを解き明かすことを目指している。



厄介で素晴らしき不安な脳の働き

小泉 愛

(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

Profile

ニューヨーク州立大学で心理学と映画学のダブル学位を取得。帰国後、東京大学心理学研究室で博士号を取得。再度アメリカに渡り、コロンビア大学心理学部でポスドク研究員を勤めた後、脳情報通信融合研究センターを経て、現在はソニーコンピュータサイエンス研究所で研究に従事。私たちを悩ませる「不安」は脳のどのような仕組みで生まれるのかを理解し、不安を和らげるための研究に取り組む。



ドラゴンの睡眠とクラウストラム

乗本 裕明

(北海道大学大学院医学研究院)

Profile

2016年東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。理化学研究所、マックスプランク脳科学研究所研究員を経て、2021年より北海道大学准教授。様々なモデル動物を用いることで、種を超えて保存された睡眠の原理を明らかにすることを目指している。



遺伝子・脳・こころ
— マウスからわかったこと —

宮川 剛

(藤田医科大学総合医科学研究科システム医科学研究部門)

Profile

1993年東大文学部心理学科卒、1997年同大学院人文社会系研究科修了。博士(心理学)。理研BSI、米国NIH、バンダービルト大、MITを経て、2003年京大・医学研究科・助教、2007年より現職。主に遺伝子改変マウスを用いて、遺伝子、脳、こころの関係を調べている。様々な心の病のモデルとなるマウスの脳とヒト患者の死後の脳で共通してみられる物質的な異常を見つけ、その原因を探っている。



脳のゆらぎがうみだす
さまざまな知性

渡部 喬光

(東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構)

Profile

東京大学医学部卒業後、精神科外来診療をしつつ、ヒトを対象にした高次認知機能の神経基盤やその非定型性についての研究に従事。東京大学大学院で博士課程修了後、特任助教(東京大学)、マリーキュリーリサーチフェロー(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)、副チームリーダー(理化学研究所)を経て2020年4月から東京大学卓越研究員、東京大学IRCIN主任研究員・准教授。